

安全宣言

我が国の労働災害は長期的には減少してきたが、平成二十六年上半期は労働災害が大幅に増加し、八月に緊急対策を実施したものの前年を上回る結果となった。

増加の背景には、消費税増税前の駆け込み需要、産業活動が活発化する中での人手不足が顕在化し、職場に潜む危険要因を察知できるだけの経験がない未熟練労働者が増えていることや、企業の安全管理体制のほころびが想定されるところである。

宮崎県内においては、平成二十六年の労働災害による死亡者数は前年比三人増の十五人で、休業四日以上での死傷者数は前年比十二人増の千二百九十九人であった。本年も既に五人の方が亡くなり、休業四日以上での死傷者数は四百九十五人（六月末日現在）と増加しており、憂慮すべき状況にある。

わが佐土原地区安全衛生協議会においては、三十年にわたる安全衛生活動で構築した当協議会の安全文化を更に発展させていかなければならない。

こうした状況を踏まえ、安全に関する経験やノウハウを産業の違いや世代を超えてつないでいくことの大切さを確認しつつ、会員事業場の事業者と労働者が一体となって、安全に対する慣れや過信を捨てて労働災害の撲滅を目指すものである。

本日の安全大会を契機に心を新たにし、

「危険見つけてみんなで改善 意識高めて安全職場」

をスローガンに職場における安全衛生管理を一層向上させることに全力を尽くすことを誓う。

右、宣言する。

平成二十七年七月二十四日

宮崎県佐土原地区安全衛生協議会